A woman with glasses and a headset is smiling while working at a computer in a bright, modern office. She is wearing a colorful, patterned shirt. The office has large windows, a desk with a computer monitor, keyboard, and mouse, and a potted plant. In the background, another person is visible at a desk.

ハイブリッドの作業環境 におけるコラボレ ーションの成功

2020年10月

目次

| | |
|------------------------------|----|
| はじめに | 2 |
| ビデオ会議のパワー | 3 |
| ハイブリッドの作業環境を理解する | 5 |
| ハイブリッド対応の文化を生み出す | 6 |
| コラボレーションプラットフォームを賢明に選択 | 7 |
| 社員の声をクリアに伝達する | 8 |
| 社員の姿をクリアに表示する | 9 |
| 会議室をビデオ対応にする | 10 |
| 会議室を最適化 | 11 |
| ITが利用しやすい方法を選ぶ | 1 |
| | 2 |
| コラボレーション環境のIQを高める | 13 |
| 締めくくり | 14 |

はじめに

古い作業方法では、最低限のコラボレーションツールが基準に満たしていたかもしれません。結局、チームメンバーの大部分は同じオフィス内において、対面の会議はほとんど努力を要しませんでした。

しかし、それは昔の話で今は状況が違ってきます。

ハイブリッドの作業環境では、ほとんどではないにしても、多くの労働力はリモートです。同時に同じオフィスにいる同僚でさえも、狭い空間に集まりたくないかもしれません。

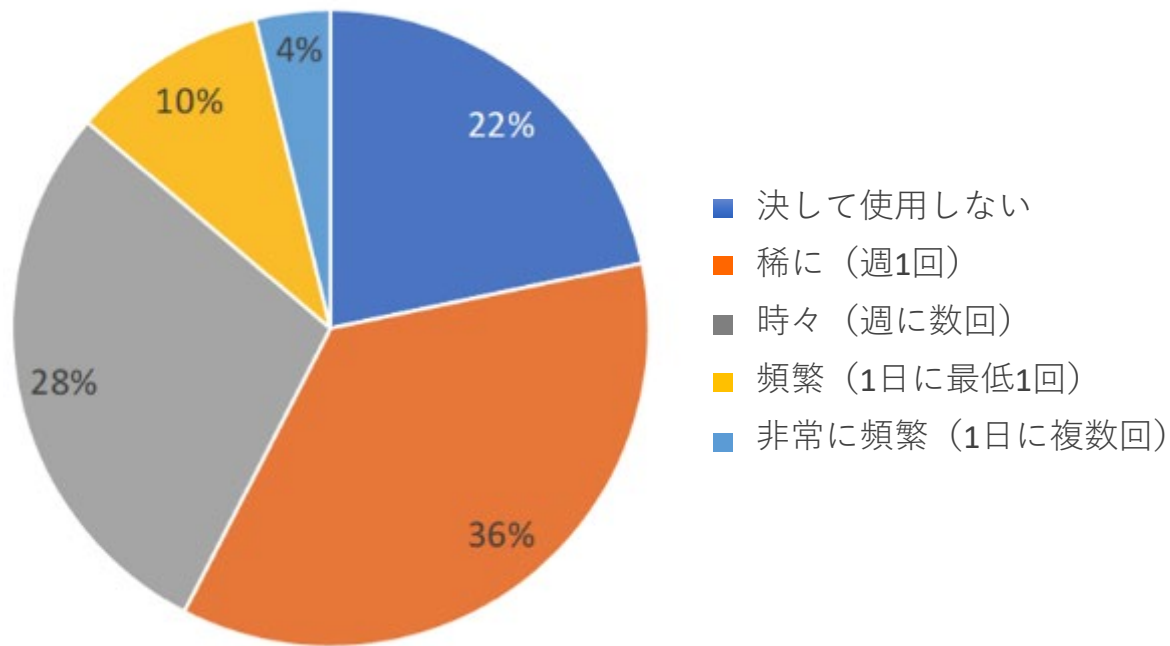
今日の現実を考えると、組織においてビデオコラボレーションが、人々をお互いに、パートナーおよび顧客につなげるための手段になっていることは何ら驚くことではありません。

この電子書籍は、ビデオ優先の文化を生み出し、ハイブリッドの作業環境において従業員の成功を最大限に高めるための、実用的な提案を提供します。

**普通なコラボレーション ツールは、
ハイブリッドの 作業環境に対応していません。**

ビデオ会議の パワー

COVID-19危機前のビデオ会議の使用



- 在宅勤務のワーカーの22%は、COVID-19前はビデオ会議を使っていなかった。
- わずか14%が、1日に最低1回ビデオ会議を使っていた。

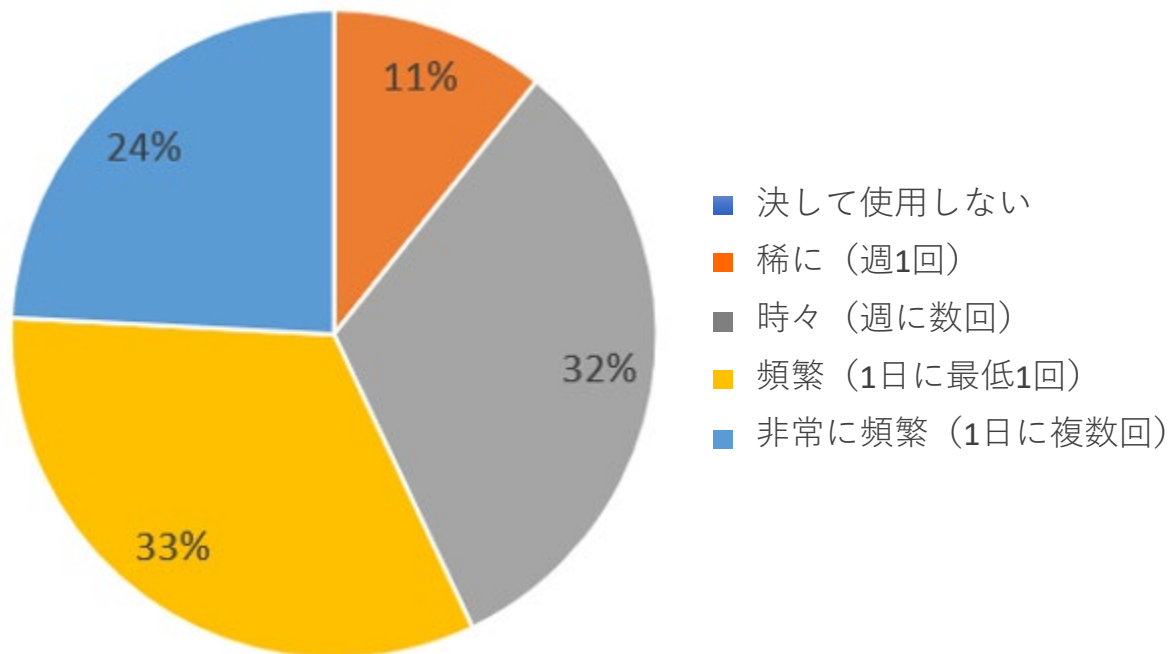
COVID前 2.3 テレビ電話回数/週

出典：1,500人以上のインフォメーションワーカーを対象に実施された、Recon Research調査（2020年）。

このような日々は過去の
ものになりました！

ビデオ会議の パワー

COVID-19危機中のビデオ会議の使用



- 調査に参加した1,500人のインフォメーションワーカーすべてが在宅勤務中にビデオ会議を使用している。
- 半数以上が、1日に最低1回ビデオを使用している。
- 1/4が、1日に数回ビデオを使用している。

ビデオ会議の使用は
ハイブリッドの作業により約3倍
になりました！

2020年夏 6.3 テレビ電話回数/週

出典：1,500人以上のインフォメーションワーカーを対象に実施された、Recon Research調査（2020年）。

ハイブリッドの作業環境

将来のハイブリッドの作業環境では：

- 多くの（ほとんどの）人々が異なる場所で作業を行う：
 - 時には自宅から
 - 時には企業オフィスから
 - 必要に応じて、その他のリモートの場所から
- 生産性と効率性の最大化を考慮して、各ワーカーに対して作業場所が決定される。
- 特定の国、都市、オフィス、部門、および作業チームは、世界中の同僚とのコラボレーションを促進する作業プログラムを導入する。
- 作業場所と作業方法は変化、発展、および変形している - リアルタイムで。

ハイブリッドの作業環境において成功するには、新しい作業方法と思考方法が必要です。

ハイブリッドの作業環境は、柔軟性と機敏性が全てです。



ハイブリッドの作業環境は妥協ではなく、戦略的利益です。

ハイブリッド対応の文化

リモートワーカーに対応するだけでなく...
分散した労働力のパワーを活用しましょう。

- グローバルに考えながら、ローカルを「理解し」、サポートする
- ハイブリッド対応のHRポリシーを作る
- 作業場所、時間、および方法を社員に選択させる
- 結果を重視 – デスクやオフィス内にいる時間ではなく
- リモートワーカーがすべての会議に参加できるようにする
- 仮想コラボレーションツールを使って、チームの創造性を解き放つ
(例えば、デジタルホワイトボード、注釈、観念化など)
- 出席できなかった社員や、リアルタイムで会議に参加できなかったリモートワーカーのために、セッションを録画する。
- 全員参加の会議を頻繁に実施して、チームと常に意思疎通を図る



ビデオ会議を活用して、同僚、パートナー、
および顧客との強いつながりを維持しましょう！

コラボレーションプラットフォームを賢明に選択する

プラットフォームを選ぶ時は、以下を提供するソリューションを探してください：

- **使いやすさ** – ユーザートレーニングが不要な、合理化されたワークフローを備える、シンプルかつ直観的なシステム
- **柔軟性** – 複数のコミュニケーション手段をサポート（プレゼンス、IM、オーディオ、ビデオ、コラボレーション）
- **規模** – 世界中のワーカーをサポートするための、グローバルな規模と範囲
- **アクセシビリティ** – ワーカーが、自宅で、オフィス内で、および外出先で使用できる
- **マルチデバイスのサポート** – モバイル、ノートパソコン、デスクトップパソコン、およびプラットフォームとデバイスを横断して一貫したルック&フィールを持つ会議室体験を提供
- **ITにとって使いやすい** – 優れたセキュリティと管理機能を内蔵！

適切なコラボレーションプラットフォームは、
労働力の真のパワーを
解き放ちます。



Microsoftの厚意により提供された画像

コミュニケーションを簡素化し、利益を得るまでの時間を最小化するには、Microsoft Teamsなどのクラウドサービスを探しましょう。

社員の声をクリアに伝達する

(プロフェッショナルヘッドセットを使用)

社員は、場所がどこであっても、適切なコミュニケーションツールが必要です。

ヘッドセットを選ぶ時は、ニーズを満たすために、以下のような様々な選択肢を提供するベンダーを探してください：

- **費用対効果** – 低コスト、信頼できる体験を提供する有線ヘッドセット
- **柔軟性** – 長い電池寿命により柔軟性を実現するワイヤレスヘッドセット
- **快適性** – 全員に適合する、オンイヤー、インイヤー、片耳および両耳用デバイス
- **パフォーマンス** – 話している同僚から吠える犬まで、ハイブリッドの作業環境のノイズを除去するインテリジェントなノイズキャンセレーション
- **認証** – 優れたコラボレーション環境（例えばMicrosoft Teams）との互換性を事前検査済み
- **便利なコントロール** – 重要な機能用のオンイヤーコントロール。例えば、音量を上げる/下げる、受話/終話、およびコラボレーションアプリ（例えばMicrosoft Teams）の起動など。

あらゆる予算に合う、有線とワイヤレスヘッドセットの幅広いポートフォリオを提供する、ロジクールなどのベンダーを探しましょう。

社員の姿をクリアに表示する

(USBウェブカメラを使用)

最高の照明状況で被写体を表示する、プロフェッショナルウェブカメラ。以下を提供するソリューションを探してください：

- **画質** – 高品質、HD解像度、フルモーションのビデオ体験
- **適応能力** – 企業オフィス、ホームオフィス、および外出先での、ノートパソコンとデスクトップパソコンでの使用に適している
- **インテリジェンス** – 自動光調整、逆光補正、オートフォーカスなど
- **認証** – 優れたコラボレーション環境との互換性を事前検査済み

プロフェッショナルな状況の場合、ほとんどのノートパソコンのカメラ、マイク、およびスピーカーの最低限のパフォーマンスは効果的ではありません！

場所がどこであっても、
社員が常につながるのが
可能にするツール。



会議室をビデオ対応にする

オフィスと自宅にいる社員を常につなげるためには、以下を提供するベンダーとシステムを探してください：

- **柔軟性** – 小、中、および大会議スペース向けの様々なソリューション
- **費用対効果** – 大規模な、グローバル導入をサポートできるプライスポイントのソリューション
- **購入しやすさ** – スペースをビデオ対応にするために必要なものがすべて含まれるバンドルやパッケージ
- **設置が簡単** – ITジェネラリストによって、素早く簡単に設置できるシステム（数日ではなく、数分で）
- **体験の品質** – HDビデオ、インテリジェントなカメラ追跡、高品質オーディオなど
- **認証** – 重要なコラボレーション環境（例えばMicrosoft Teams）との互換性を事前検査済み

あなたの会社のビデオ会議室は、分散した労働力へのポータルです。

ターンキーソリューションを検討してください。例えばロジクールTap（Microsoft Teams用）の場合、タッチUI、マイク、スピーカー、4Kカメラ、およびコラボレーションプラットフォームが1つのバンドルに含まれています。

会議室を 最適化

現在の会議室インベントリを見直して、以下のように、導入を適切なサイズにします：

- **多様な会議室** – オフィスワーカーがソーシャルディスタンスと作業方法に対応できるように、適切な数の小、中、および大スペースを提供する
- **専用スペース** – 特定の使用事例（例えば、面談、R&Dセッション、ブレインストーミング、プレゼンテーション、トレーニングなど）向けに最適化されたスペースを提供する
- **最新テクノロジー** – 複雑なAVシステムやVCシステムを、ロジクールMeetUpやRallyなど、購入しやすい、設置しやすい、そして使いやすいソリューションに置き換える
- **適切なプラットフォーム** – Microsoft Teams Roomsなど、会議室専用のプラットフォームを使用する

会議室の使用方法について社員を指導して、安全性と生産性を最大限に高める。

適切な場所で適切なシステムをグローバルチームに提供して、作業の遂行を支援しましょう！



ITが利用しやすい方法を選ぶ

利益を得るまでの時間を短縮し、TCOを最小限に抑えるツールとサービスを提供する企業と提携します。

- **導入サポート** – 以下のようなサービスを探してください：
 - ロジクールJumpStart - ロジクール製品と連動するMicrosoft Teams Roomsの、顧客による設置と構成を支援する無料サービス
 - Microsoft FastTrack - 顧客がMicrosoft Cloudソリューションのオンボーディングを行い、ユーザーによる導入を促進するための無料サービス
- **監視 / 管理** – 以下のようなツールを探しましょう：
 - ロジクールSync – ロジクール会議室デバイスと会議室パソコンの監視と管理を行うための、クラウドベースのプラットフォーム。
 - Microsoft Teams Admin Center – Microsoft TeamsとTeamsアプリの監視と管理を行うための、ウェブベースのポータル
- **マネージドサービス** – 有資格のサービスプロバイダーの能力と体験を活用（Microsoft Teams Rooms Premium製品を通して利用可能なサービスなど）

ベンダー、プラットフォーム、およびデバイスを選ぶ時は、ユーザーおよびIT管理者の両方に権限を与えるソリューションを重視してください。

コラボレーション環境のIQを高める

インテリジェントシステムとITのマインドセットを使って会議を強化し、社員を保護しましょう。

音声コントロール – 利便性または次世代のタッチレス体験が目的であっても、音声コントロールは、従業員の安全性を高めながら会議を次のレベルに進めます

自動化 – 人々が部屋に入るとシステムを自動的にオンにするモーションセンサーと、共有するコンテンツを自動的に表示する自動切り替え

体験の最適化 – 会議室の自動フレーミング、光補正、およびノイズリダクションにより、会議に影響を及ぼす前にビデオとオーディオの問題を排除します

当て推量で行わないこと – デバイス、コラボレーションプラットフォーム、および会議室環境のリモート監視と管理

社員の保護 – 会議室の使用状況の追跡、会議室の占有率アラート、およびヒートマップにより、会議室の利用状況に関する洞察を提供し、人々が安全に作業できるようにします



優れたコラボレーション製品とサービスを開発しているベンダー（例えばロジクールやMicrosoft）を選ぶことで、将来性のある投資を行いましょう。

締めくくり

ビデオ会議は、同僚、パートナー、および顧客との優先的なコミュニケーション方法になっています。

ハイブリッドの作業環境には、オフィス、自宅、および外出先で作業をする人々が含まれます。

情報通の組織は**ビデオ優先**の文化を生み出し、グローバルな労働力を活気づけ、強化します。

組織は、次世代の、ワーカーにとって使いやすい、インテリジェントなソリューションに継続的に投資を行う、ロジクールやMicrosoftなどのソリューションプロバイダーに投資する必要があります。

